

自己評価

令和5年2月
和光市立広沢小学校

評価結果の見方

今回のアンケート結果は、ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析結果を活用しています。

アンケート概要

- 【実施日】 R5.1.10～R5.1.20
- 【対象者】 本校教職員
- 【実施人数】 37名
- 【実施率】 100%

【質問項目】

実際の質問内容です。

【グラフ表示】

円グラフ：アンケート結果

※選択肢を選んだ割合

折れ線グラフ：経年変化

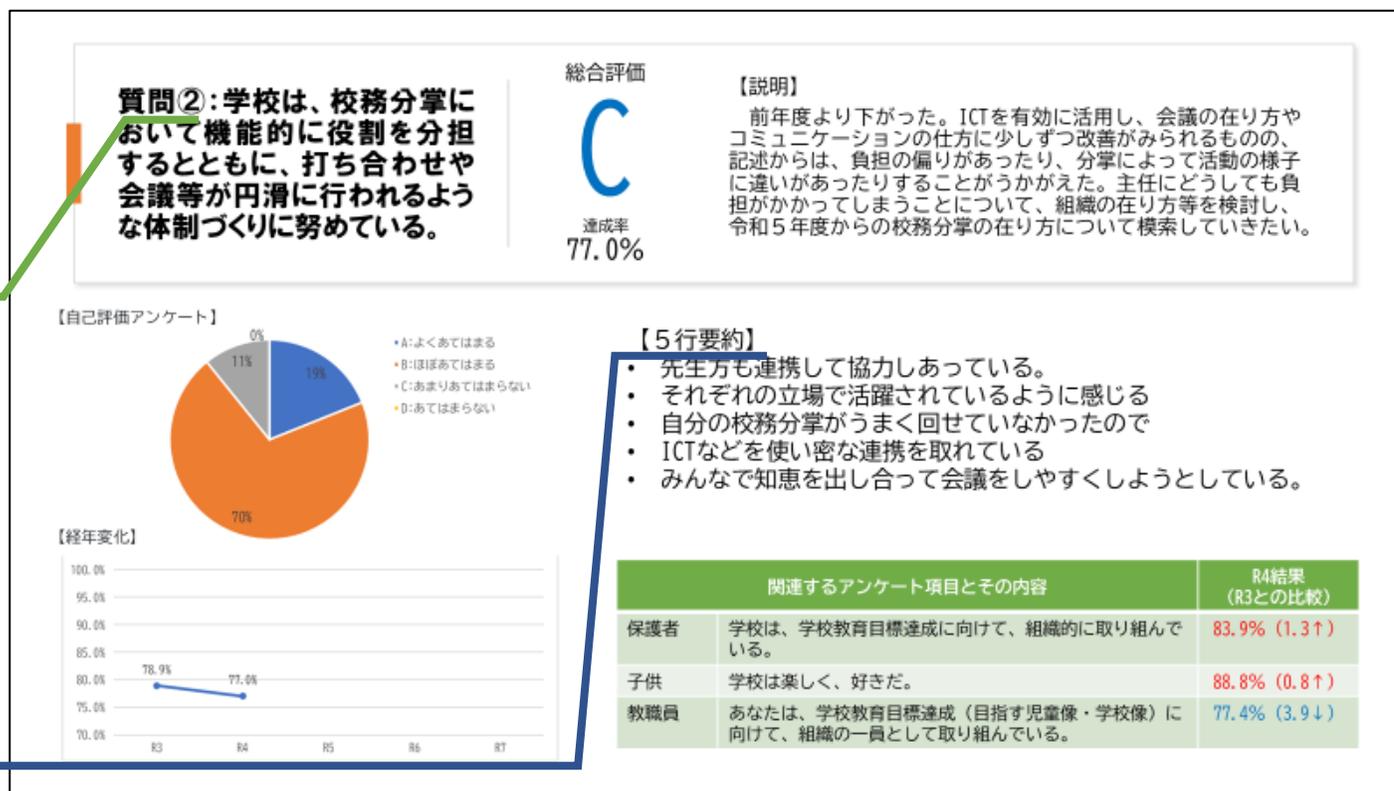
※達成率（4つの尺度をそれぞれ4～1点で点数化し、その合計点を満点（148点＝37人×4点）で割った数値）を前年度までのものと比較したもの

【5行要約】

 User Local AIテキストマイニング で自動的に要約されたものです。

【総合評価】

達成率等の結果から、今年度の取組についてA～Cで評価しています。
(赤は前年度より良くなったもの、青は前年度より下がったもの)



【参考アンケート一覧】 保護者アンケート、子供アンケート、教職員自分アンケートにおける関連アンケートと結果を参考として示しています。

質問①:学校は、学校教育目標達成(目指す児童像・学校像)に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。

総合評価

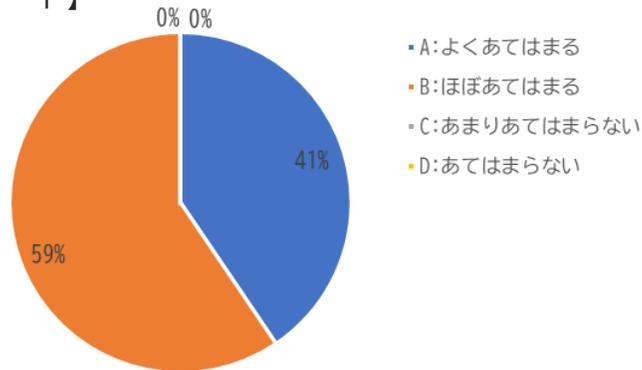
B

達成率
85.1%

【説明】

前年度より0.7ポイント上昇。今年度から新たな学校教育目標を意識してその具現化に努めている様子がうかがえる。関連する保護者・子供のアンケートもそれぞれ上昇している。一方、教職員が自分自身を振り返るアンケートにおいては、数値が下がっていることから、今後、一人一人が自信をもってその具現化に携わることができるよう、さらに意識を高めていく。

【自己評価アンケート】



【5行要約】

- 校内研究等で意識している。
- 概ね協力しながらできていると感じます
- 校長先生が職員にしっかりら周知している。
- 教職員全員で取り組めていると思います。
- キャッチフレーズが覚えやすいのでみんな意識している。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、学校教育目標達成に向けて、組織的に取り組んでいる。	83.9% (1.3↑)
子供	学校は楽しく、好きだ。	88.8% (0.8↑)
教職員	あなたは、学校教育目標達成(目指す児童像・学校像)に向けて、組織の一員として取り組んでいる。	77.4% (3.9↓)

質問②:学校は、校務分掌において機能的に役割を分担するとともに、打ち合わせや会議等が円滑に行われるような体制づくりに努めている。

総合評価

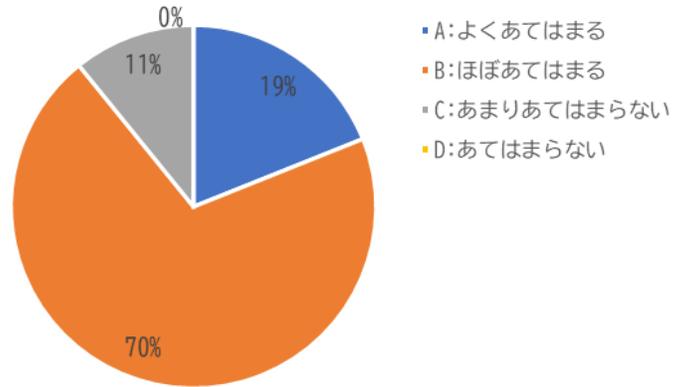
C

達成率
77.0%

【説明】

前年度より下がった。ICTを有効に活用し、会議の在り方やコミュニケーションの仕方に少しずつ改善がみられるものの、記述からは、負担の偏りがあつたり、分掌によって活動の様子に違いがあつたりすることがうかがえた。主任にどうしても負担がかかってしまうことについて、組織の在り方等を検討し、令和5年度からの校務分掌の在り方について模索していきたい。

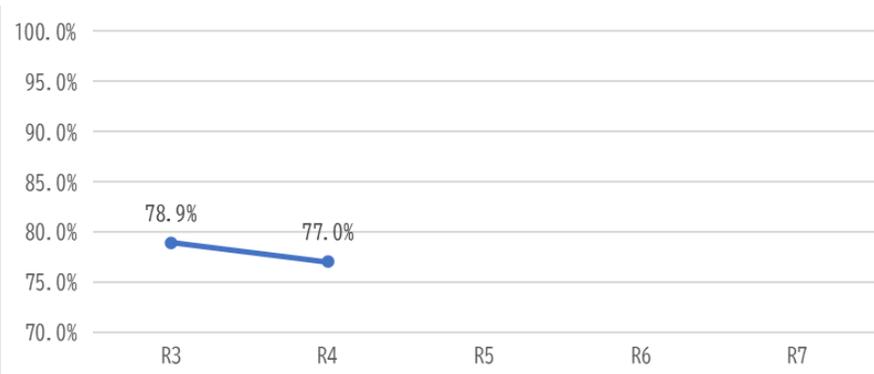
【自己評価アンケート】



【5行要約】

- 先生方も連携して協力しあっている。
- それぞれの立場で活躍されているように感じる
- 自分の校務分掌がうまく回せていなかったなので
- ICTなどを使い密な連携を取れている
- みんなで知恵を出し合って会議をしやすいようにしている。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、学校教育目標達成に向けて、組織的に取り組んでいる。	83.9% (1.3↑)
子供	学校は楽しく、好きだ。	88.8% (0.8↑)
教職員	あなたは、学校教育目標達成（目指す児童像・学校像）に向けて、組織の一員として取り組んでいる。	77.4% (3.9↓)

質問③:学校は、働き方改革を進め、職場の風通しをよくしたり、業務改善に努めたりしている。

総合評価

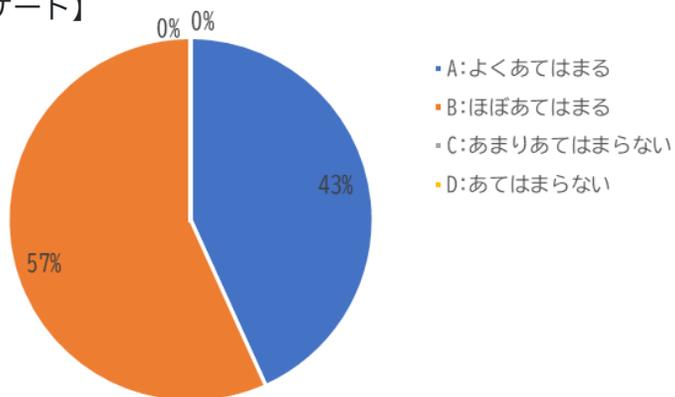
B

達成率
85.8%

【説明】

自己評価においては、数値的な改善がみられる。具体的な取組が結果として表れ始めている一方、自分自身の振り返りでの数値が低かったり、「質問②」の校務分掌の在り方では課題があったりするなど、一人一人の取組状況にフォーカスしてさらに改善していく必要があると考える。

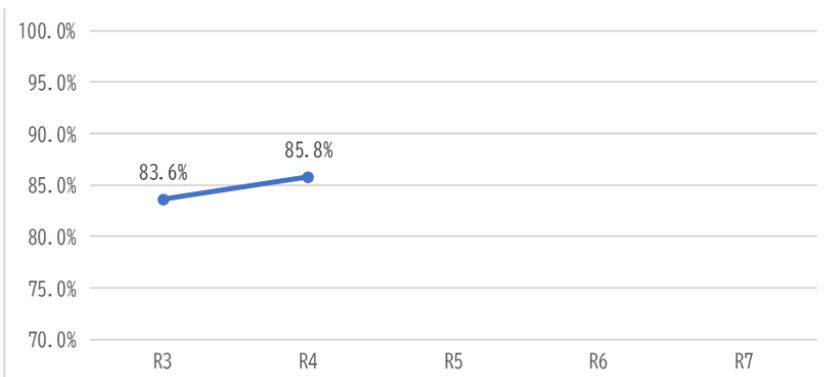
【自己評価アンケート】



【5行要約】

- 教員間の連携が十分に行われている
- 負担軽減できる業務は積極的に省かれていてよい。
- 共通理解のもと、全員がそれに向かって努力している。
- 柔軟に対応している。
- 通知表を前期と後期の2回にしてもらえたことがとても大きい。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、学校教育目標達成に向けて、組織的に取り組んでいる。	83.9% (1.3↑)
子供	学校は楽しく、好きだ。	88.8% (0.8↑)
教職員	あなたは働き方改革を進め、職場の風通しをよくしたり、業務改善に努めたりしている。	77.4% (3.9↓)

質問④：学校は、教職員一人一人に教育公務員としての自覚と誇りを持たせ、互いに連携・協力しながら事故防止に努められる環境づくりをしている。

総合評価

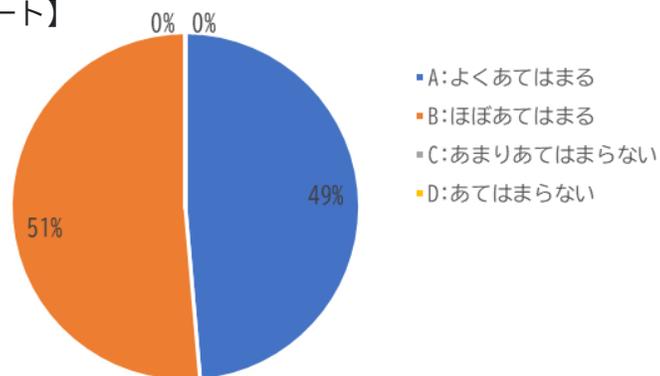
B

達成率
87.2%

【説明】

学校としての取組に関する数値は高くなっている。しかし、自分自身を振り返った時、働き方改革や風通しの良い職場づくりなど、やや数値が下がっていることから、教職員一人一人のゆとりの醸成やコミュニケーション等において、さらなる改善が必要である。また数値の上下に関わらず、常に高い倫理観を維持続けられるよう、研修等を通じて意識を高め続けていく。

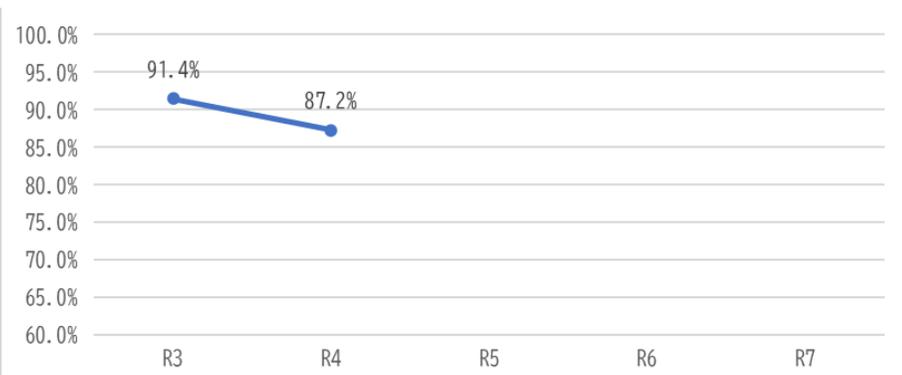
【自己評価アンケート】



【5行要約】

- 定期的な研修を行い確認できているから
- お互いに声を掛け合うことができている。
- 立場が弱く、責められやすいと感じている。
- 定期的に倫理確立委員会なども開かれているからです。
- 定期的に倫理確立研修を設け再確認する場を設けている。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、学校教育目標達成に向けて、組織的に取り組んでいる。	83.9% (1.3↑)
子供	学校は楽しく、好きだ。	88.8% (0.8↑)
教職員	あなたは働き方改革を進め、職場の風通しをよくしたり、業務改善に努めたりしている。	77.4% (3.9↓)

質問⑤: 学校は、安全に配慮し、危機管理体制を整えている。

総合評価

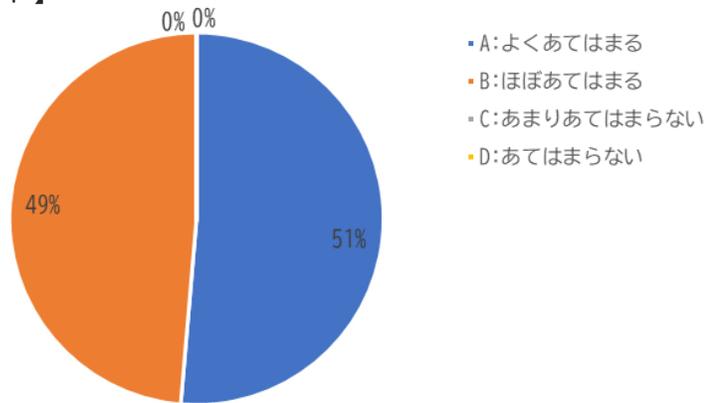
B

達成率
87.8%

【説明】

学校の安全への取組について、保護者や子供たちの数値は高まっているが、学校としての取組、自分自身の取組においては、数値が下がっている。コロナ禍の影響はまだ抜きにはできないが、いつ災害が起ころうとも、命を最優先し、被害を最小限に食い止めるための安全への配慮、および危機管理体制の構築に具体的に取り組んでいく。

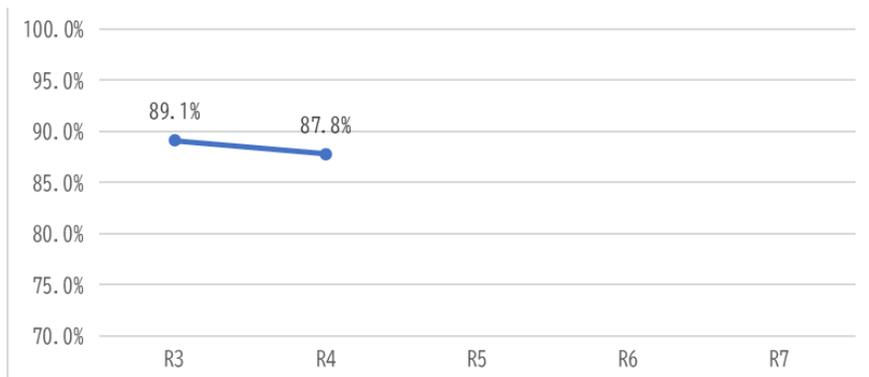
【自己評価アンケート】



【5行要約】

- 施設設備の老朽化が目立つので、改善が必要。
- 手すりや柵の設置が有難い。
- 未然防止、初期対応について年度はじめに確認しているから
- 本当によく配慮している。
- 安全点検をもとに、施設設備に不備が無いよう努めている

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は事件・事故等から子供たちを守るため、施設・設備の整備や子供たちへの指導、非常時対応の訓練などを実施し、安全・安心に配慮した体制を整えている。	82.8% (3.8↑)
子供	普段から交通ルールを守ったり、不審な人に注意したりするなど、自分の安全には気を付けている。	93.4% (3.2↑)
教職員	あなたは、事件・事故等から子供たちを守るため、施設・設備の整備や子供たちへの交通安全指導などを行っている。	75.8% (5.5↓)

質問⑥：学校は、地震や火災などを想定した訓練を計画的に実施し、効果的な防災教育を行っている。

総合評価

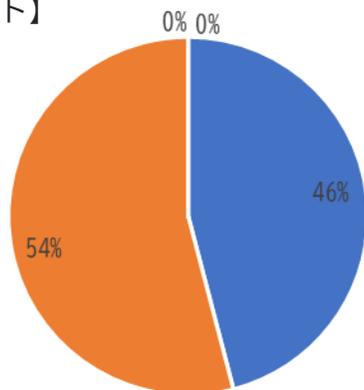
B

達成率
86.5%

【説明】

今年度は、コロナ禍の中、久しぶりに全校が校庭に集まった避難訓練を行うことができた。そのことも含め、取組に少しずつ改善がみられるものの、例えば「Jアラート」など新たな脅威への対応等も必要になっていることから、これまで行ってきた訓練・防災にかかる教育活動を見直していく必要がある。自治体の研修会等に参加するなど、新たな情報を常に意識して、対応していく。

【自己評価アンケート】

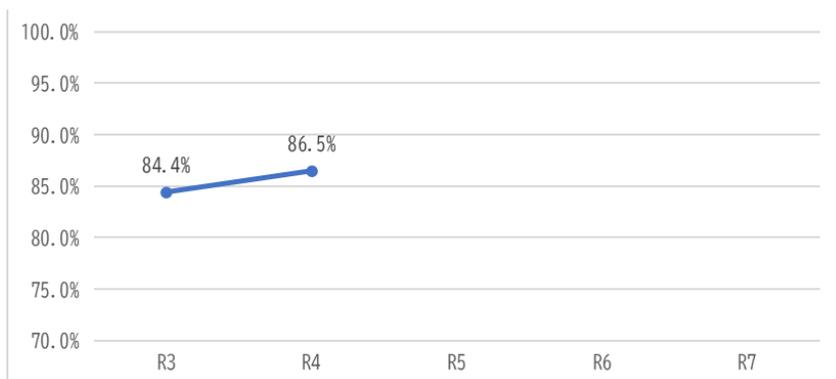


- ・A:よくあてはまる
- ・B:ほぼあてはまる
- ・C:あまりあてはまらない
- ・D:あてはまらない

【5行要約】

- ・ 訓練、日々の啓示とか、盛んに行っている。
- ・ 放送を工夫して行うことができている。
- ・ 各学期に行い、担任が児童に指導しているから
- ・ 教員がいない時間帯での避難訓練がとてもいいと思っています
- ・ 定期的に避難訓練を行い転出入が激しい中で避難経路も確認している

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は事件・事故等から子供たちを守るため、施設・設備の整備や子供たちへの指導、非常時対応の訓練などを実施し、安全・安心に配慮した体制を整えている。	82.8% (3.8↑)
子供	普段から交通ルールを守ったり、不審な人に注意したりするなど、自分の安全には気を付けている。	93.4% (3.2↑)
教職員	あなたは、事件・事故等から子供たちを守るため、施設・設備の整備や子供たちへの交通安全指導などを行っている。	75.8% (5.5↓)

質問⑦：学校は、コミュニティ・スクールとして、家庭での教育や地域の教育資源等を教育活動に生かすなど、保護者や地域と連携した学校運営を推進している。

総合評価

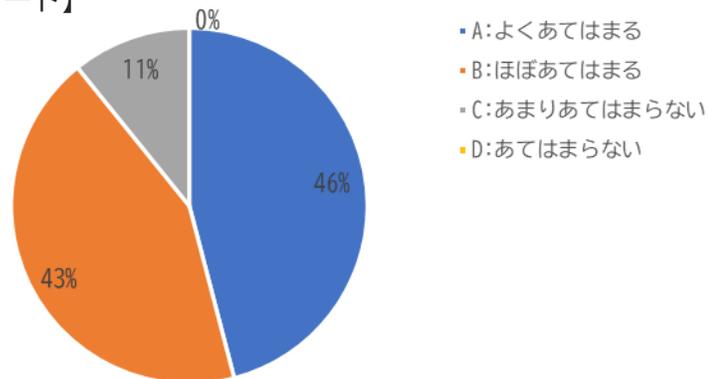
B

達成率
83.8%

【説明】

学校としての取組では、数値的な改善がみられるものの、保護者、教職員の数値は前年度よりも下がっている。特に教職員一人一人の意識改革に大きな課題があることから、今年度行った熟議での話し合いの内容を具現化し、教職員一人一人の意識を高めていきたい。

【自己評価アンケート】



【5行要約】

- わたしがあまり目にしていないのかもしれませんが。
- 今年度は特に保護者、地域と関わる機会が多かったから
- 地域との連携システムが構築されている。
- 特に教職員の理解の点において、さらなる推進が必要である。
- 地域との連携が取れている。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、コミュニティ・スクールとして、家庭での教育や地域の教育資源等を教育活動に生かすなど、保護者や地域と連携した学校運営を推進している。	80.4% (1.7↓)
教職員	あなたは、コミュニティ・スクールの職員として、家庭での教育や地域の教育資源等を教育活動に生かすなど、保護者や地域と連携した学校運営に寄与している。	66.9% (4.4↓)

質問⑧：学校は、「社会に開かれた教育課程」を志向し、家庭や地域と学校教育の目標や内容を共有している。

総合評価

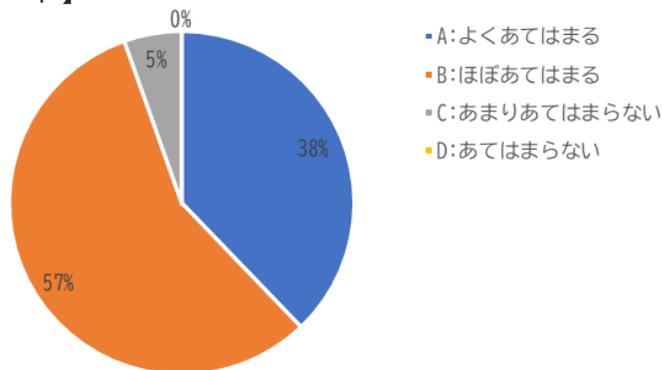
B

達成率
83.1%

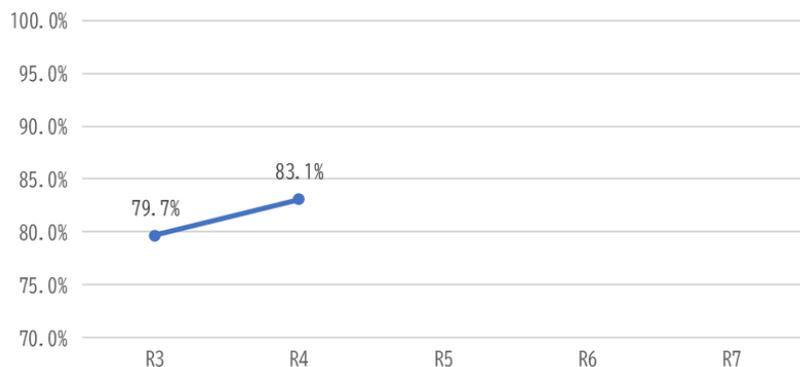
【説明】

「質問⑦」と同様、学校全体としての取組の数値は上がっているものの、保護者、教職員の数値は下がっている。熟議等を含めた新たな地域との連携づくりを始めて2年が経過するところだが、中学校区に発足した地域学校協働活動や現在設立中の地区社会福祉協議会等の動きとさらに連動し、「地域の子供たちは地域で育てていく」という意識をさらに高めていきたい。

【自己評価アンケート】



【経年変化】



【5行要約】

- ネットを使って学校の様子を伝えることができている。
- 校長先生が定期的にかわらばんを発行して共有をはかっているから
- 部会を通して連携できていると感じたから
- 熟議など効果的に行われている。
- 教職員の意識改革と、行政支援が必要である。

関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、コミュニティ・スクールとして、家庭での教育や地域の教育資源等を教育活動に生かすなど、保護者や地域と連携した学校運営を推進している。	80.4% (1.7↓)
教職員	あなたは、コミュニティ・スクールの職員として、家庭での教育や地域の教育資源等を教育活動に生かすなど、保護者や地域と連携した学校運営に寄与している。	66.9% (4.4↓)

質問⑨：児童は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。

総合評価

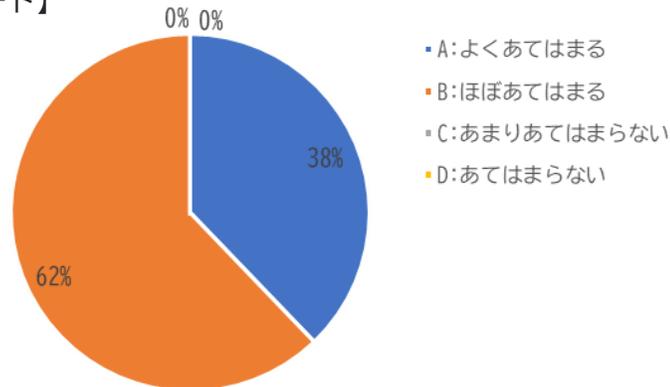
B

達成率
84.5%

【説明】

自己評価はほぼ横ばいだが、保護者、子供、教職員自分自身それぞれのアンケートではいずれも数値が高くなっている。今年度から新たな子供の見取りをスタートしたが、保護者と教職員が同じ目線で子供たちのことを見届けることができ始めているのかもしれない。また、高学年の算数の習熟度別学習についてのコメントも肯定的なことから、子供たちのニーズや状況にあった学習を進められるように今後も努めていく。

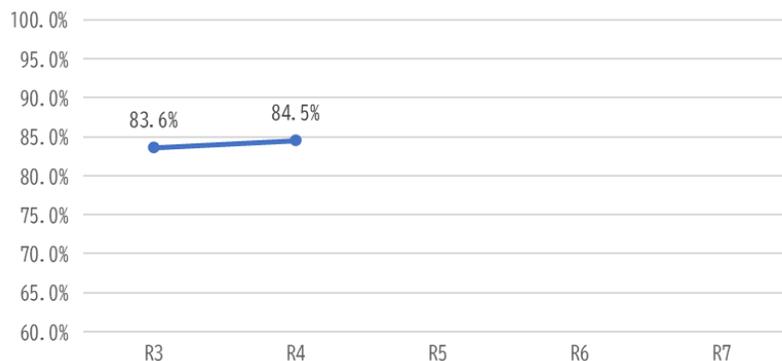
【自己評価アンケート】



【5行要約】

- プリントなど利用して、盛んに取り組んでいると思う。
- できなかった子の伸びを見ると、そう感じます。
- 教員ではないので分かりませんが、そうだと思います
- テストや授業態度からそう感じた
- コロナの影響もあり、反復学習が足りなくなっているため、反復学習を行っていきたい。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、授業を改善したり指導法を工夫したりするなど、子供たちに確かな学力が身に付くよう努めている。	85.3% (3.4↑)
子供	授業は楽しく、分かりやすい。	90.3% (5.5↑)
教職員	子供たちは、あなたの指導により、基礎学力を身に付けている。	78.4% (6.5↑)

質問⑩：学校は、学力向上（主体的・対話的で深い学びの実現等）を目指し、児童の実態に基づいて授業改善に努めている。

総合評価

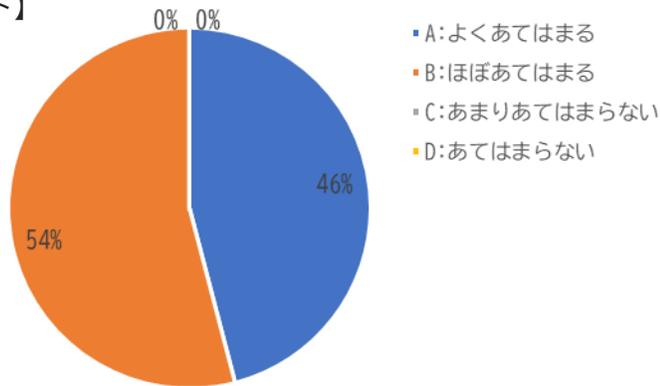
B

達成率
86.5%

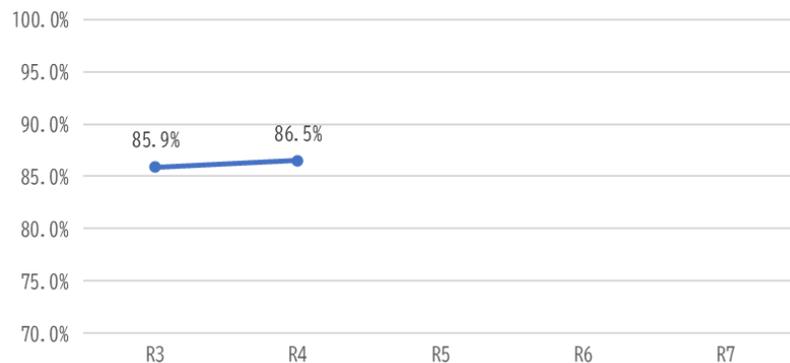
【説明】

自己評価の数値はほぼ横ばいだが、85%以上の高い数値となっている。また子供の学習へのやる気も90%近くまで高まってきている。教職員の自分自身の振り返りにおいても、数値が上昇していることから、意図的なアクティブ・ラーニングへの取組が功を奏しているのではないだろうか。教員の研修においても、主体的・対話的で深い学びへの関心は高い。

【自己評価アンケート】



【経年変化】



【5行要約】

- そのことが授業改善につながっていると思う。
- 先生方もいつも真剣に取り組んでおられます。
- ICT等も活用しながら授業改善に努めている。
- 校内研修なども通じて行えていると感じる。
- ICTを活用したり話し合い活動を積極的に取り入れているから。

関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、授業を改善したり指導法を工夫したりするなど、子供たちに確かな学力が身に付くよう努めている。	85.3% (3.4↑)
子供	授業にはやる気をもって臨み、友だちと協力しながら学んでいる。	89.0% (2.7↑)
教職員	あなたは、学力向上（主体的・対話的で深い学びの実現等）を目指し、子供たちの実態に基づいて授業改善に努めている。	81.8% (5.3↑)

質問⑪:学校は、外国語等の学習やICTの活用など、これからの時代に必要な学力の育成に力を入れている。

総合評価

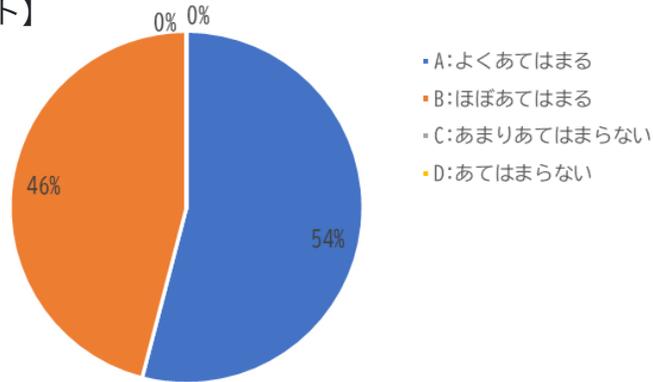
B

達成率
88.5%

【説明】

自己評価の数値は約89%と、高いレベルでほぼ横ばいである。子供のアンケートにおいては、タブレットの積極的活用における学びの数値が前年度比約16%増で、大幅に伸びている。一方、教職員一人一人が自分を振り返ったところでは、数値が下がっていることから、自分の取組等に自信が持てていない状況もうかがえる。他自治体の先進事例等を研修等で学ぶ機会を今後醸成していきたい。

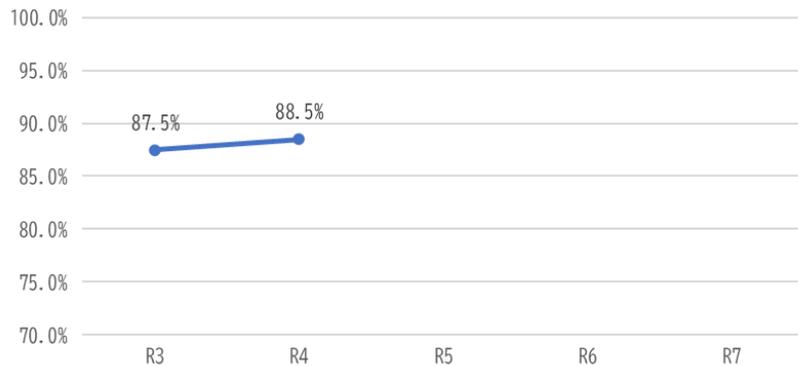
【自己評価アンケート】



【5行要約】

- 他市等の先進事例を研究していく。
- 実践をお互いに共有しながら高め合っているから。
- そのことが授業改善につながっていると思う。
- タブレットを活用することができている。
- いろいろ工夫しながら活用できているから。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、授業を改善したり指導法を工夫したりするなど、子供たちに確かな学力が身に付くよう努めている。	85.3% (3.4↑)
子供	タブレットを積極的に使って勉強している。	89.7% (16.2↑)
教職員	あなたは、外国語等の学習やICTの活用など、これからの時代に必要な学力の育成に力を入れている。	70.5% (4.5↓)

質問⑫：学校は、児童の実態や日々の実践、学力調査等を基に、カリキュラムマネジメントを確立し、よりよい教育課程の編成に努めている。

総合評価

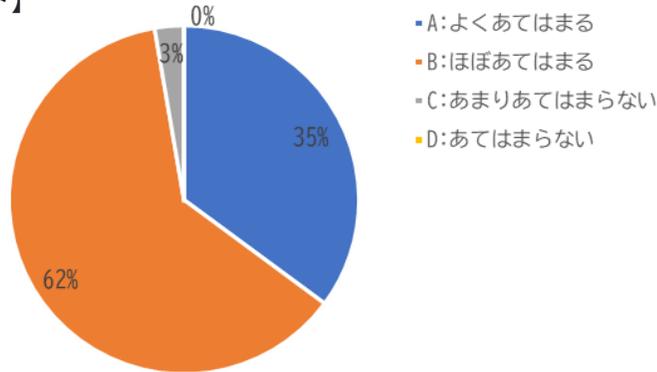
B

達成率
83.1%

【説明】

自己評価の数値は少し上昇している。また、教職員一人一人の振り返りにおけるカリキュラム・マネジメントへの意識も高まってきていることがうかがえるが、数値的にはやや低い水準である。過日、今年度の研究・研修の振り返り・まとめを行ったが、子供たちの表現力を高めるためのカリキュラムをどうマネジメントするかという視点も出てきたことから、次年度以降、具体的に研究等を進めていきたい。

【自己評価アンケート】



【5行要約】

- 本校の大きな課題である。全員の意識を高めていきたい。
- 教員ではないので分かりません
- よく子どもを見ていると思うから。
- 児童の情報も、その都度情報共有している。
- 児童の実態を把握して改善することができている。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、授業を改善したり指導法を工夫したりするなど、子供たちに確かな学力が身に付くよう努めている。	85.3% (3.4↑)
子供	タブレットを積極的に使って勉強している。	89.7% (16.2↑)
教職員	あなたは、子供たちの実態や日々の実践、学力調査等を基に、カリキュラムマネジメントを確立し、よりよい教育課程の編成に努めている。	77.3% (5.9↑)

質問⑬: 学校は、児童が学習ルールを理解するなど、学習規律の確立を図っている。

総合評価

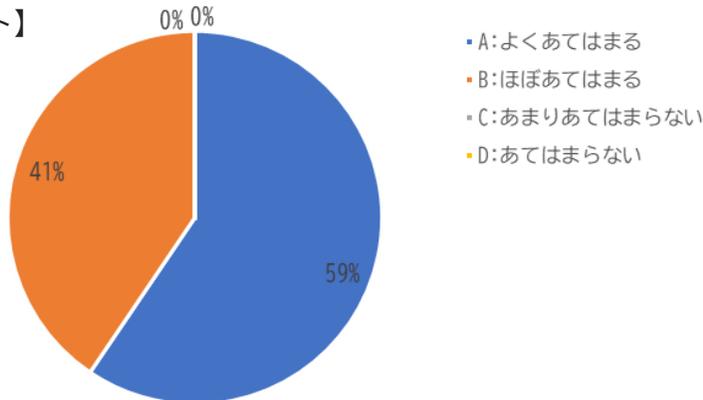
B

達成率
89.9%

【説明】

自己評価の数値も上昇し、90%の高い数値となっていることから、今年度の取組が功を奏していることがうかがえる。保護者のアンケートの数値も上昇していることや、教職員一人一人の振り返りの数値も大幅に伸びていることから、全体で意識して取り組んでいることが成果として表れている。今後も取組をブラッシュアップしながら継続し、よりよい学びの環境づくりとして、学習規律の確立を図っていきたい。

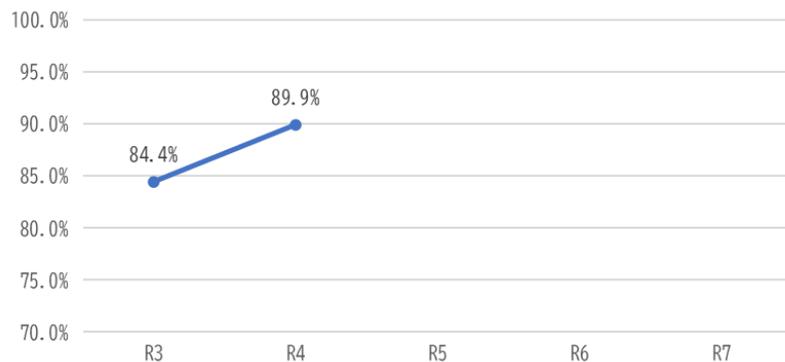
【自己評価アンケート】



【5行要約】

- ・ 教員ではないので分かりません
- ・ 児童の様子からそう感じた
- ・ そのルールを守りとても落ち着いている子どもが多いから。
- ・ 生活目標等でルールを意識させている。
- ・ 5分前行動などをよく守ることができている。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は、授業を改善したり指導法を工夫したりするなど、子供たちに確かな学力が身に付くよう努めている。	85.3% (3.4↑)
子供	タブレットを積極的に使って勉強している。	89.7% (16.2↑)
教職員	あなたは、子供たちが学習ルールを理解するなど、学習規律の確立を図っている。	79.5% (13.2↑)

質問⑭：学校は、児童一人一人に寄り添い、いじめや暴力等を見逃すことなく、共通理解のもとに指導している。

総合評価

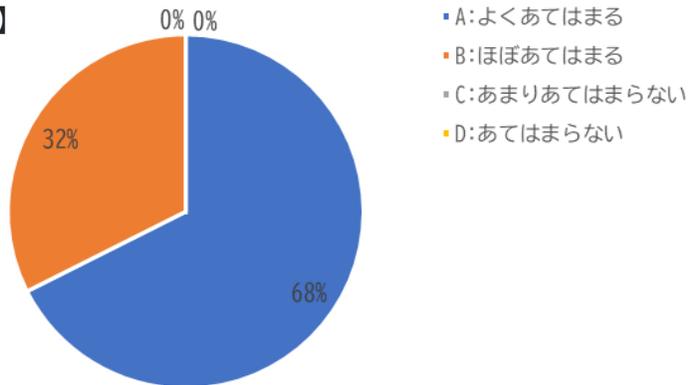
A

達成率
91.9%

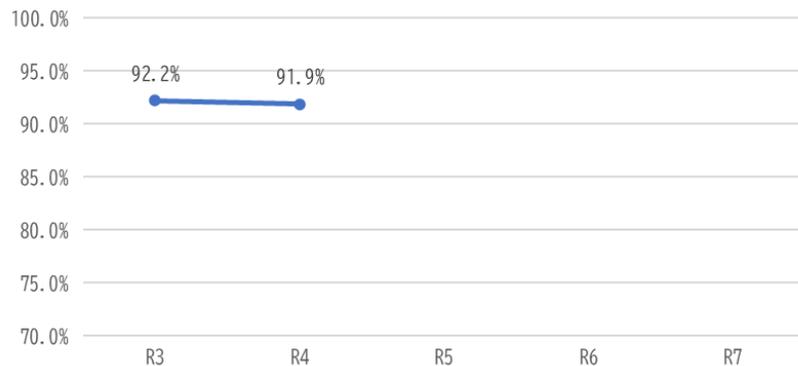
【説明】

自己評価はほぼ横ばいである。「よくあてはまる」を選択した教職員が多いことから、一人一人の意識も高い。一方、教職員一人一人の振り返りの数値がやや下がっていることから、教職員の中でも子供への対応に自信がないものもいるのではないかと考える。保護者・子供のアンケートの数値は上昇していることから、現在の取組を改めて再確認し、教職員一人一人が自信をもって指導できるよう、共通理解を進めていきたい。

【自己評価アンケート】



【経年変化】



【5行要約】

- 学年を越えて連携が取れている。
- 報告連絡相談が徹底されている
- 小さなことの報告を、逐次行っている様子がある。
- 月に一度の生徒指導部会で学校全体で共通理解を図っている
- 積極的に学年間で気になることを共有している。

関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は子供たちのいじめや不登校の防止、規律ある態度の育成等、豊かな心の育成に努めている。	81.3% (2.2↑)
子供	相手の気持ちを考え、人の嫌がることはしない（言わない）ようにしている。	88.0% (4.2↑)
	⑦悩んだり困ったことがあったりしても、先生に相談できる。	81.1% (5.8↑)
教職員	あなたは、例えばいじめの問題があったときに、すぐに話を聞いて対応するなど、いじめや暴力等を見逃すことなく、共通理解のもとに指導している。	85.3% (2.2↓)

質問⑮：学校は、児童の実態把握に基づき、規律ある指導の工夫・改善に努めている。

総合評価

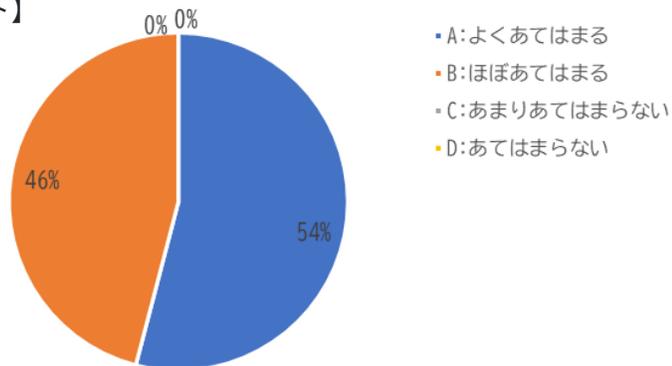
B

達成率
88.5%

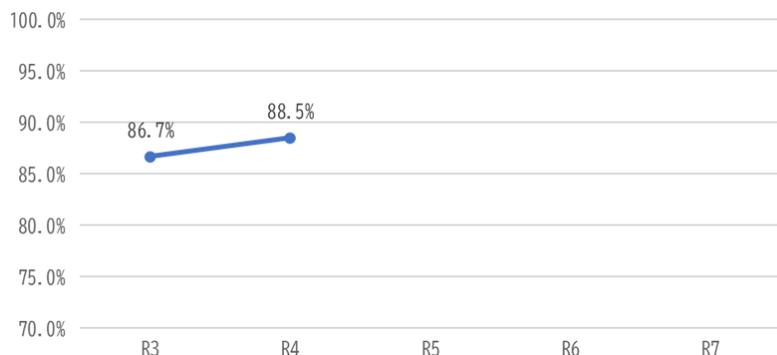
【説明】

自己評価は、前年度よりも少し上昇した。また子供のアンケートの数値は大幅に上昇しており、子供たち自身が規律ある態度への意識をたかめているようすがうかがえる。今年度から、毎月、子供自身が学習規律等について振り返る機会を、タブレットのアンケートを通して持っていることも、意識を高められた要因の一つではないだろうか。

【自己評価アンケート】



【経年変化】



【5行要約】

- 規律ある態度の毎月のウェブアンケートは画期的だと思う。
- 転出入が多いが児童理解研修で報告し合っている。
- 実態を把握した上で、伝わる声掛けなども模索していきたい。
- 読んでおいてほしい児童も含めフォルダの中に資料が溜まっていくためいつでも確認できる。
- 生徒指導部や研修を通じて、児童の成長を全職員で見守ったり、助言したりしているから。

関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は子供たちのいじめや不登校の防止、規律ある態度の育成等、豊かな心の育成に努めている。	81.3% (2.2↑)
子供	⑧「時刻を守る」や「進んであいさつや返事をする」など、規律ある態度はできている。	86.1% (7.9↑)
教職員	あなたは児童生徒の実態把握に基づき、規律ある指導の工夫・改善に努めている。	83.0% (0.2↑)

質問⑩：児童は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた規律ある態度を身に付けている。

総合評価

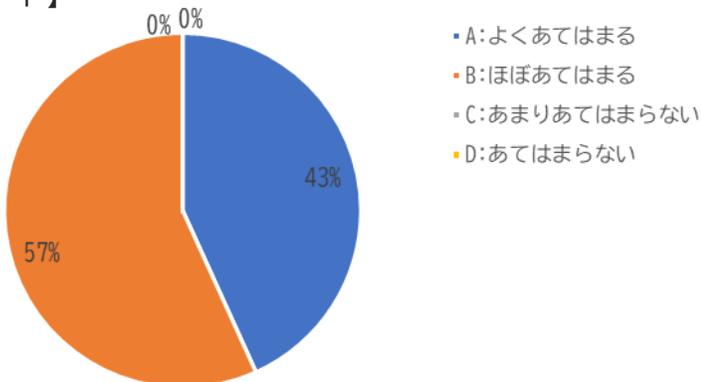
B

達成率
85.8%

【説明】

「質問⑨」と同様、子供のアンケートの伸びから、規律ある態度が身につけてきている様子が見えてくる。具体的に振り返る場面を醸成したり、異学年での交流が少しずつ増えてきたことから、上級生など他者の様子から学んでいるのかもしれない。次年度以降も課題を洗い出し、その改善に向けて、焦点を絞って取り組んでいきたい。

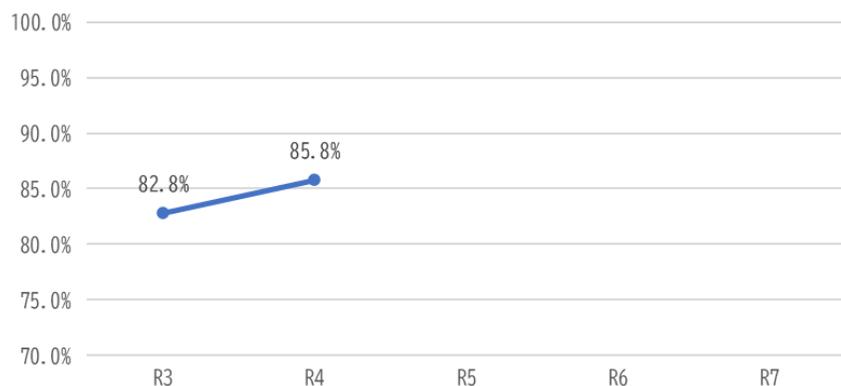
【自己評価アンケート】



【5行要約】

- まだまだ指導が必要な部分もあるから。
- 児童の様子からそう
- 取組が今後の成果に繋がるようにしていきたい。
- さすが高学年になればなるほど、自立し始めてくる。
- 高学年が落ち着いていてルールを率先して守っている

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は子供たちのいじめや不登校の防止、規律ある態度の育成等、豊かな心の育成に努めている。	81.3% (2.2↑)
子供	⑧「時刻を守る」や「進んであいさつや返事をする」など、規律ある態度はできている。	86.1% (7.9↑)
教職員	あなたは児童生徒の実態把握に基づき、規律ある指導の工夫・改善に努めている。	83.0% (0.2↑)

質問⑱：児童は、体育の授業や外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。

総合評価

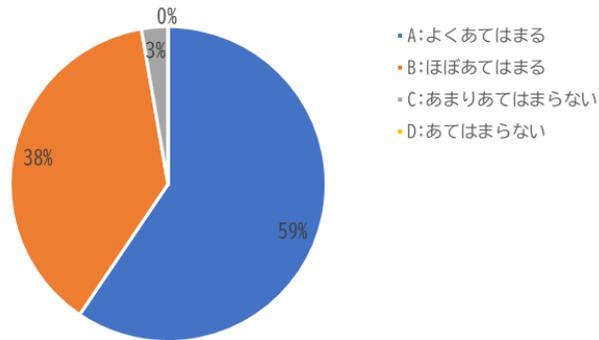
B

達成率
89.2%

【説明】

自己評価の数値は若干下がっているものの、ほぼ横ばい。一方、保護者・子供・教職員の数値は少し上昇している。昨年度と同様に教職員の数値が低い。昨年度に比べても子供たちが外で元気よく遊んだり、体育の時間に思いっきり運動したりする機会は増えているように思うが、今後さらに健康や体力向上の観点から体を動かすことを推進していきたい。

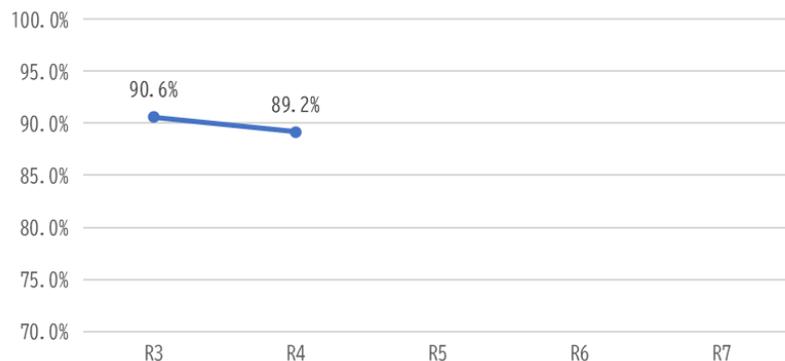
【自己評価アンケート】



【5行要約】

- ・ 休み時間によく遊んでいる様子が伺える。
- ・ 毎日よく外遊びをしている児童が多いから。
- ・ 教員も外で一緒に遊ぶことができているから
- ・ 体育部の大縄大会など無理なく楽しく児童も参加できている。
- ・ 昨年よりも外遊びに励む児童が増えたように思う。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	⑥学校は子供たちに、健康の保持増進や体力の向上に資する指導に努めている。	86.4% (2.6↑)
子供	体育の授業や外遊び等、体を動かすことは好きだ。	91.7% (2.4↑)
教職員	あなたは、児童生徒の体力を高めるため、体育の授業改善など意図的に向上策を講じている。	73.5% (2.3↑)

質問⑱：学校は、児童の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。

総合評価

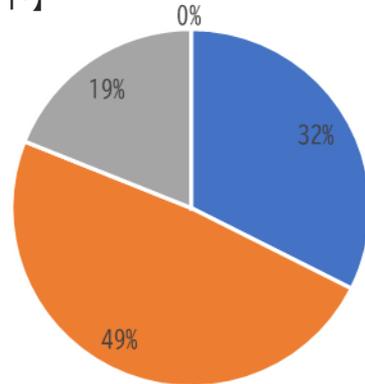
C

達成率
78.4%

【説明】

自己評価及び教職員の自分自身の振り返り、いずれも数値が低い。コロナ禍の影響がまだ残っていることが要因ではないかと考える。一方、子供たち自身は、体育や外遊び等、体を動かすことへの興味関心が高い。今後のコロナ禍の状況を確認しながら、具体的な活動の醸成等を通して、意図的な向上に努めていく。

【自己評価アンケート】

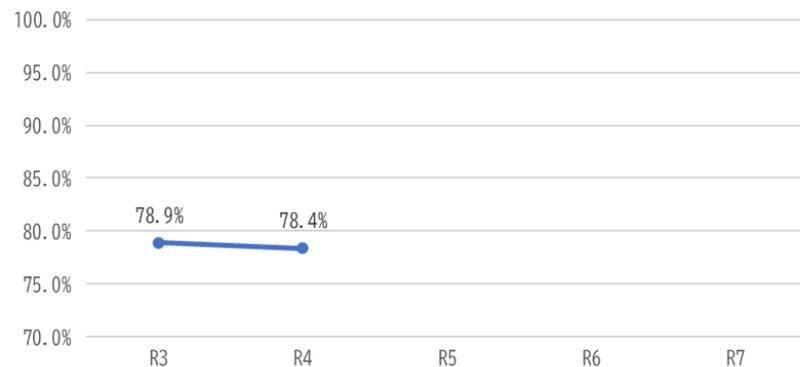


- A:よくあてはまる
- B:ほぼあてはまる
- C:あまりあてはまらない
- D:あてはまらない

【5行要約】

- ・ わたしが知らないのかもしれませんが。
- ・ 例年、大縄などのイベントを設定している。
- ・ 雑巾掛け、掃き掃除など、盛んに行なわれている。
- ・ それは結構できていると思う
- ・ 体力テストの結果からそう感じた

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	⑥学校は子供たちに、健康の保持増進や体力の向上に資する指導に努めている。	86.4% (2.6↑)
子供	体育の授業や外遊び等、体を動かすことは好きだ。	91.7% (2.4↑)
教職員	あなたは、児童生徒の体力を高めるため、体育の授業改善など意図的に向上策を講じている。	73.5% (2.3↑)

質問⑱: 学校は、普段から児童に食育や体の健康に関する指導を行っている。

総合評価

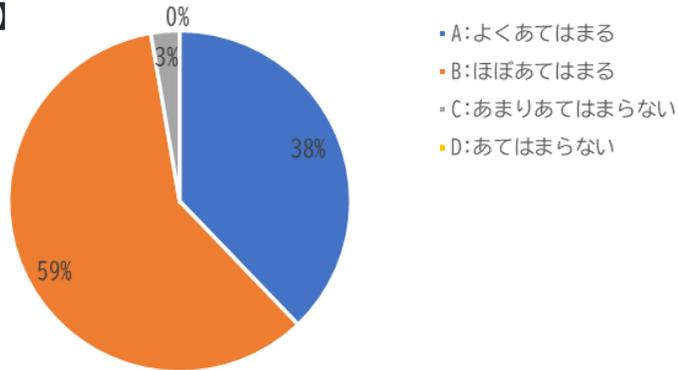
B

達成率
83.8%

【説明】

自己評価の数値は上昇しているが、教職員が自分自身を振り返った数値は減少している。保護者や子供たちの数値は少し上がっているもののほぼ横ばいであることから、健康等への関心は高いが、意図的に高められていないところがあるのかもしれない。コロナ禍の状況にもよるが、食育や健康教育等により一層力を入れ、教職員一人一人の意識を高めていきたい。

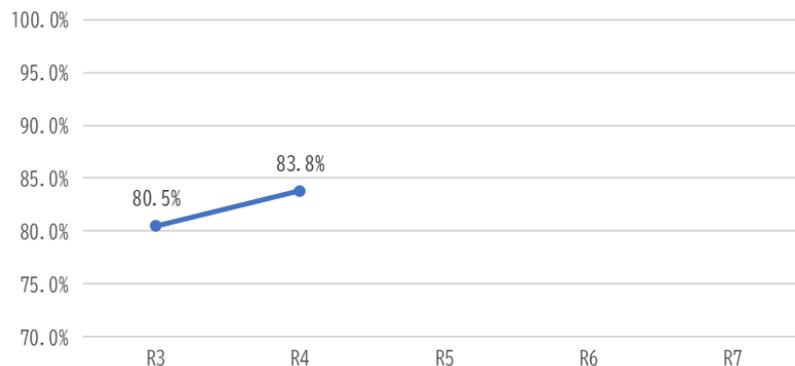
【自己評価アンケート】



【5行要約】

- 給食や保健の先生が手厚いから。
- 児童に十分に気が付いて、学んでほしい。
- 食育の時間が少ないから
- 給食委員の放送で気づくことがたくさんあるようです
- 栄養士の先生も、本当によくやっていると感じます。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は子供たちに、健康の保持増進や体力の向上に資する指導に努めている。	86.4% (2.6↑)
子供	給食は残さないで食べる。	91.2% (1.5↑)
	毎日けがや病気に気をつけて、学校生活を送っている。	92.1% (0.2↑)
教職員	あなたは、普段から子供たちに食育や体の健康に関する指導を行っている。	76.3% (5.4↓)

質問⑳: 学校は児童のよさを見つけ、児童を理解しようと努めている。

総合評価

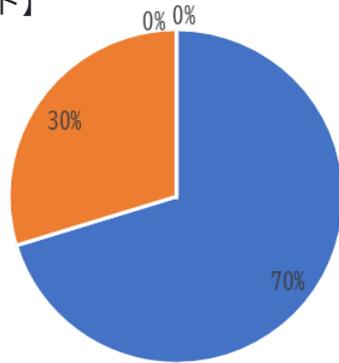
A

達成率
92.6%

【説明】

自己評価における教職員の意識は高い。教職員が自らを振り返った数値は若干下がっているものの、85%を超える高い数値であることから、学校で子供たちのよさを意識する指導・支援は進んでいるものと考えられる。子供のアンケートで、自己肯定感がやや下がっていることから、子供たちがさらに自信を付けられるよう、児童理解に努めていく。

【自己評価アンケート】

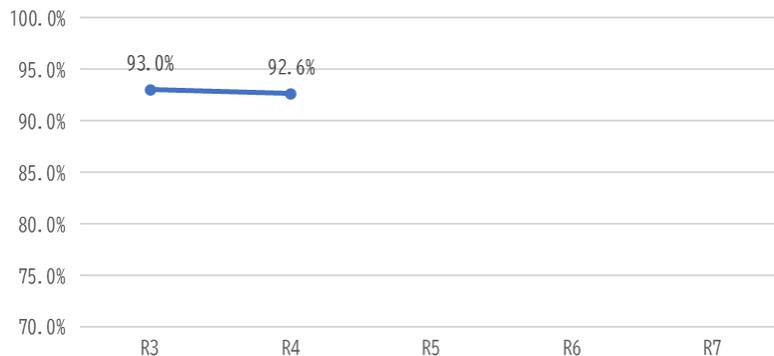


- A:よくあてはまる
- B:ほぼあてはまる
- C:あまりあてはまらない
- D:あてはまらない

【5行要約】

- ・ 私は心がけております。
- ・ 学校としての取組を今後検討していきたい。
- ・ 管理職や生徒指導主任を中心に組織で行なっているから
- ・ 教員が児童の良いところの話をよくしているから
- ・ 児童理解研修などを定期的に行うことができている。

【経年変化】



関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は子供のよさを見つけ、子供を理解しようと努めている。	83.8% (0.0)
子供	⑫将来の夢を考えている。	81.7% (5.6↑)
	⑬自分にはよいところがある。	79.6% (3.6↓)
教職員	あなたは子供のよさを見つけ、子供を理解しようと努めている。	87.9% (2.1↓)

質問⑳: 学校は児童の現状をとらえ、新しい時代を生きる児童に必要な力の育成に努めている。

総合評価

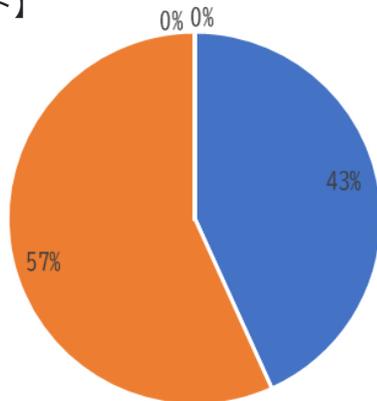
B

達成率
85.8%

【説明】

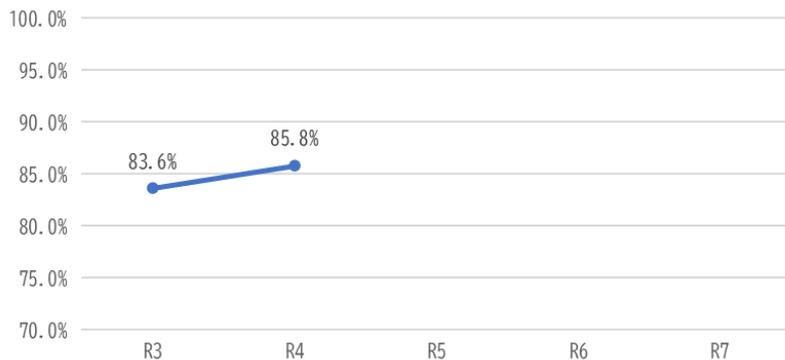
自己評価、保護者・子供・教職員自分自身のアンケートすべての項目で上昇傾向がみられた。学習に関するアンケートでも、タブレット端末の活用が改善がみられたことから、これからの時代に必要な知識や技能などを着実に身につけられるようになってきたと考えられる。教職員の自分自身の振り返りにおける数値が低いことから、自信をもって育成に努められるよう、研究・研修等で高めていきたい。

【自己評価アンケート】



- ・ A: よくあてはまる
- ・ B: ほぼあてはまる
- ・ C: あまりあてはまらない
- ・ D: あてはまらない

【経年変化】



【5行要約】

- ・ ここ数年のテーマかもしれない。
- ・ ICTも活用することができている。
- ・ 研修を通りてより高めていけると思う。
- ・ 意識はしております。
- ・ 新しい時代を生きる力はなかなか難しいができる範囲で努力している

関連するアンケート項目とその内容		R4結果 (R3との比較)
保護者	学校は子供たちの現状をとらえ、新しい時代を生きる子供たちに必要な力の育成に努めている。	80.4% (0.7↑)
子供	初めてのことや新しいことなどにも積極的にチャレンジしている。	84.5% (5.7↑)
	難しいことでも、最後まで粘り強く取り組んでいる。	85.8% (6.2↑)
	他の人と自分の考えや意見がちがっても、いろいろと話をしながら相手の気持ちを考えて行動している。	87.6% (7.0↑)
教職員	あなたは子供たちの現状をとらえ、Society5.0の新しい時代を生きる子供たちに必要な力の育成に努めている。	73.8% (3.5↑)

